



現和の子

やさしく・かしこく・たくましく

令和4年度学校だより
西之表市立現和小学校
令和4年11月25日発行



言葉のもつ力

校長 横山 政文

秋から冬にかけての立冬を過ぎたこの時季、春のようにぼかぼかとした温かい日和を「小春日和（こはるびより）」といいます。先日、敬老会を兼ねた花見をするからと連絡をいただき、西俣地域の秋桜（こすもす）畑を見学しました。広大な敷地一面に色とりどりの紫が咲きほこり、ひまわりの黄色と相まって、別世界にいるような、ゆったりとした時間を過ごすことができました。旅立ちに舞う春の桜もそうですが、小春日和の澄みきった青空に咲く「秋桜」も味わい深いもの。西俣地域の皆さんの一致協力した取組や温かいお誘いの言葉に感謝いたします。

さて、読書月間である今月は、子供たちが自分のお薦め本をいかに周りに分かってもらえるかプレゼン（紹介）するビブリオバトルや職員が持ち回りで他学年にする読み聞かせなど、本に親しみながらも、自分の思いを言葉で伝え合う取組を行ってきました。

また、本校では、一時徹底事項として「あいさつ」を取り上げ、年間を通して積極的に行うように呼びかけています。「おはようございます」「こんにちわ」はもちろんのこと、「ありがとうございます」「さようなら」など互いに対面して交わすあいさつには、もともとそれぞれに意味があり、相手に対して自分の心からの素敵な礼として気持ちを伝えることにもつながります。先生や友達、家族や近所の人とのあいさつや対話を通じて自分の思いを言葉で伝えることで、より主体的で心豊かな子供たちに育ってくれるものと考えているところです。

俳人である夏井いつきさんは、中学校国語教師の時、子供たちのトラブルや人間関係の希薄さについて、自分自身の言葉を伝える術（すべ）が少ないことを痛感されたそうです。そこで、ご自身も趣味であった歳時記を読みふけり、言葉で伝えることの意味を深く考え、俳句の道に進まれたそうです。「言葉でしか人と人とはつながれない」という夏井さんの姿に、今も昔も変わらぬ言葉のもつ力の重要性を感じます。

私たち職員も、子供たちに寄り添い向き合うため、あいさつや会話での単なる声かけから、一言添えた言葉かけをしていこうと話し合っています。

12月行事予定

1日（木）～7日（水）校内人権週間	17日（土）青少年育成の日
2日（金）持久走大会予備日	18日（日）PTA門松づくり
9日（金）租税教室（6年）	23日（金）2学期終業式
10日（土）土曜授業	親子読書の日
13日（火）小学校集合学習（5年）	25日（日）にこにこ人権の日
16日（金）弁護士派遣「いじめ防止授業」（4～6年）	28日（水）御用納め

県民週間「学校を見に行こう」週間

1日(火)～7日(月)までは、県民週間ということで、保護者、地域の方々が学校の様子を見に来られました。今年は、読書月間にも入ったこの時期に読み聞かせグループ「たんぽぽ」のみなさんによる低・中・高学年に分かれての読み聞かせタイムを数日設定し、子供たちと近い距離で種子島の昔話やユーモアのあるお話を読んでいただきました。また、音楽発表や生活科の秋祭りなど、各発達段階に応じた教育活動の様子をご参観いただき、子供たちの活動をたくさん認め、励ましていただきました。ありがとうございました！



学校関係者評価委員会

たんぽぽの皆さん！楽しい選本から演出まで、ご準備をありがとうございました！

県民週間中に授業の様子等も参観していただきながら、現和小の課題や次年度の学校経営案等について協議していただきました。いつも評価委員のみなさまには、前向きな助言や励まして学校を温かく見守ってもらっています。心から感謝しています。

西之表市小・中学校合同音楽祭！

3年ぶりに開催された音楽祭。現和小からは1～4年生が学校代表として出演しました。大舞台で発表する緊張感、他校の発表に触れた感動！すべてが貴重な経験となりました。そして、何より本番までの練習で感じ、学び、味わってきた様々な体験こそが一人一人のこれからの力となりますね。

